



# くすりと健康

一般社団法人  
神戸市薬剤師会

## 爪白癬(爪水虫) つめはくせん

白癬菌は、皮膚を構成するタンパク質の一種であるケラチンを栄養源にして成長するカビの一種で、皮膚の角質層に寄生し、高温多湿の環境で増殖が活発になる性質を持っています。その白癬菌が手足にすみついた後に、爪と皮膚の境目から侵入して少しずつ奥深くへ侵食してゆき爪白癬となります。はじめは、爪の先などの一部が白や黄色っぽく変色し、痒みなどの自覚症状はありません。進行するにしたがって変色部分が広がってゆき、最終的には爪全体が白や黄色、褐色の濁ったような色になります。また、盛り上がるように爪は厚みを増してゆき、もろくなつてポロポロと崩れてしまいます。

白癬菌は、皮膚を構成するタンパク質の一種であるケラチンを栄養源にして成長するカビの一種で、皮膚の角質層に寄生し、高温多湿の環境で増殖が活発になる性質を持っています。その白癬菌が手足にすみついた後に、爪と皮膚の境目から侵入して少しずつ奥深くへ侵食してゆき爪白癬となります。はじめは、爪の先などの一部が白や黄色っぽく変色し、痒みなどの自覚症状はありません。進行するにしたがって変色部分が広がってゆき、最終的には爪全体が白や黄色、褐色の濁ったような色になります。また、盛り上がるように爪は厚みを増してゆき、もろくなつてポロポロと崩れてしまいます。

になります。基本的には、白癬菌に効果のある内服薬で治療をおこないますが、足の爪は完全に生え変わるまでに1年ほどかかるため、症状にもよりますが数カ月から1年ほど服用を続ける必要があります。

治療薬は、テルビナフィンとイトラコナゾールがあります。テルビナフィンは毎日服用する薬で、肝機能障害などの副作用が起こることがあり注意が必要ですが、服用をやめると回復するので心配しすぎることはありません。一方のイトラコナゾールは、1週間連続で服用を続けて3週間服用を中断する「パルス療法」という服用方法が一般的で、テルビナフィンに比べると副作用の心配は少ないのですが、飲み合わせの悪い薬が多く、ほかの薬を服用している方では注意が必要です。また、空腹時だと体に吸収されにくいいため、食後すぐ服用したほうが吸収が良くなります。

塗り薬では、爪に対する浸透力が高く、爪白癬に効果があるエフィナコ

ナゾールとルリコナゾールが使われています。飲み薬と違い副作用などの心配が少ないため、副作用等で飲み薬が使えない時などに使用されます。これらの薬も変色変形した部分の爪が生え変わるまで使用する必要があります。数カ月にわたり使用を続けます。

爪白癬の予防は、白癬菌に感染しないことです。白癬菌は皮膚に付着してもすぐに感染するわけではないので、清潔に保ち高温多湿の環境にしないことが大切です。具体的には、プールや公衆浴場などを裸足で歩いた後は、足の指の間なども丁寧に洗い、よく水分をふき取りしっかり乾燥させることなどをおこなってください。また、家族に水虫の人がいる場合には、床の拭き掃除をおこなったり、スリッパやタオルの共用をやめて別々のものを使うなど感染の危険性を減らす工夫をするとうよいでしょう。

(北区) 薬局エビラファーマシー

松本博志